

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

アンケートにご協力いただき誠にありがとうございます。

回答時間の目安： おおよそ 2.5分  
(ご回答の内容により変動します)

お答えいただいた内容は統計的に処理し、回答者個人が特定されるような情報について公表することはありません。

## はじめにお読みください。

■アンケートの回答には、ブラウザのJavaScriptの設定を有効にする必要があります。

【推奨環境 (OS・ブラウザ)】

- Microsoft Windows10以降
  - Internet Explorer 最新版
  - Firefox 最新版
  - Google Chrome 最新版
- Macintosh OS X以降
  - Safari 最新版
- iOS 最新版
  - Safari 最新版
- Android 最新版
  - Google Chrome 最新版

※ 上記以外の (OS・ブラウザ) では、正常に動作しない場合がございます。あらかじめご了承ください。

下記のみず色のラインの中に「開始」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。  
お手数ですが、JavaScriptを設定後/ブラウザタイプ確認後に、ページの更新(F5キー)をお願い致します。

戻る

開始

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 2% / 100% ]

## 0. 学校設置者としての基礎情報

※ 本調査の中学校・高等学校には、義務教育学校(後期課程)、中等教育学校、特別支援学校の中学部・高等部が含まれます。

**必須** Q1.

回答していただく学校種別を一つだけ教えてください。(1つ選択)

※【中学校】には、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部を含む

※【高等学校】には、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む

- 中学校
- 高等学校

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 3% / 100% ]

**必須** Q2.

回答者情報をご回答ください。(1つ選択)

- 都道府県教育委員会
- 指定都市教育委員会
- 市区町村教育委員会
- 学校法人
- 国立大学法人

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 4% / 100% ]

必須 Q3.

回答者情報を記入してください。  
※「学校法人番号」はURLから該当する半角英数字を入力ください。  
※URLをクリックしていただくと「次へ」ボタンが表示されます。

[ヨコへ回答→](#)

団体名	<input type="text"/>
担当部署	<input type="text"/>
担当役職	<input type="text"/>
担当者氏名	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
所属団体代表メールアドレス	<input type="text"/>
担当者メールアドレス	<input type="text"/>
都道府県	<input type="text"/>
市町村	<input type="text"/>
学校法人番号 URL : <a href="https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/">https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/</a>	<input type="text"/>

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 5% / 100% ]

必須 Q4.

自らが設置している学校の数および運動部活動が存在する学校数を記入してください。(数値記入)  
※半角数字でご記入ください。  
※設置していても、運動部活動が存在しない場合は「0」と記入してください。

[ヨコへ回答→](#)

設置している学校数	<input type="text"/> 校
運動部活動が存在する学校数	<input type="text"/> 校

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 6% / 100% ]

1. 部活動の方針の策定

スポーツ庁のガイドラインを受け、各団体が策定する「運動部活動の方針」(平成30年3月)の策定状況について教えてください。

【国のガイドライン該当箇所】  
都道府県は、本ガイドラインに則り、部活動の活動時間及び休養日の設定その他適切な部活動の取組に関する「部活動の在り方に関する方針」を策定する。

市区町村教育委員会や学校法人等の学校の設置者は、本ガイドラインに則り、都道府県の「部活動の在り方に関する方針」を参考に、「設置する学校に係る部活動の方針」を策定する。  
校長は、学校の設置者の「設置する学校に係る部活動の方針」に則り、毎年度、「学校の部活動に係る活動方針」を策定する。運動部顧問は、年間の活動計画(活動日、休養日及び参加予定大会日程等)並びに毎月の活動計画及び活動実績(活動日時・場所、休養日及び大会参加日等)を作成し、校長に提出する。

校長は、活動方針及び活動計画等を学校のホームページへの掲載等により公表する。

学校の設置者は、上記に関し、各学校において運動部活動の活動方針・計画の策定等が効率的に行えるよう、簡便で活用しやすい様式の作成等を行う。なお、このことについて、都道府県は、必要に応じて学校の設置者の支援を行う。

必須 Q5.

運動部活動の在り方に関する方針」の策定状況についてご回答ください。(1つ選択)

- 既に策定している 策定年度 (  年度 ) ※西暦でご記入ください。
- 年度内に策定する予定である
- 来年度以降に策定する予定である
- 検討中である

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

【 7% / 100% 】

**必須** Q6.

策定した「運動部活動の在り方に関する方針」の公開状況についてご回答ください。（複数選択可）

- ホームページで公開している（URL: )
- ホームページ以外の方法で公開している（公開方法: )
- 公開に向けて準備中である（公開予定時期: )
- 公開は、予定していない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 8% / 100% 】

**必須** Q7.

策定した「運動部活動の在り方に関する方針」で準備中の公開方法についてご回答ください。（複数選択可）

- ホームページ
- ホームページ以外（公開方法: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 10% / 100% 】

**必須** Q8.

策定した「運動部活動の在り方に関する方針」は私立学校も対象にしていますか。（1つ選択）

- 対象としている
- 対象としていないが、対象となるよう改訂等を行う予定である（改訂予定時期: )
- 別途、私立学校を対象としている方針を策定している
- その他（具体的に: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 11% / 100% 】

**必須** Q9.

自らが設置している学校の全てで、校長により「学校の運動部活動に係る活動方針」が策定されていますか。（1つ選択）

- 全ての学校で策定されている
- 一部の学校で策定されている（理由及び対応方針: )  
例: ○月までに反映されるよう調整しているところである。
- 把握していない（理由及び対応方針: )  
例: 把握のためのコミュニケーションが取れていない。把握体制を○月までに構築予定しているところである。
- いずれの学校でも策定されていない（理由及び対応方針: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 12% / 100% 】

**必須** Q10.校長により「学校の運動部活動に係る活動方針」が策定されている学校は何校でしょうか。（数値記入）  
※半角数字でご記入ください。設置している学校数【 \*\*\* ANS Q10441 \*\*\* 】校のうち  校で策定済み

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

【 13 % / 100% 】

**必須** Q11.

自らが設置している学校において、校長による「学校の運動部活動に係る活動方針」策定に向けた支援等の実施状況についてご回答ください。(1つ選択)

- 支援等を実施している 取組概要 (  )
- 支援等を実施していない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 14 % / 100% 】

**必須** Q12.

自らが設置している学校の全てで、校長により策定された「学校の運動部活動に係る活動方針」は、学校設置者が策定した活動方針が反映されていますか。(1つ選択)

- 全ての学校で反映されている
- 一部の学校で反映されている (理由及び対応方針: )  
例: ○月までに反映されるよう調整しているところである。
- 把握していない (理由及び対応方針: )  
例: 把握のためのコミュニケーションが取れていない。把握体制を○月までに構築予定しているところである。
- いずれの学校でも反映していない (理由及び対応方針: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 15 % / 100% 】

**必須** Q13.学校設置者が策定した運動活動方針を反映している学校は何校でしょうか。(数値記入)  
※半角数字でご記入ください。設置している学校数【 \*\*\* ANS Q10441 \*\*\* 】校のうち  校で反映済み

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 16 % / 100% 】

**必須** Q14.

学校設置者は、各学校において、校長により策定された「学校の運動部活動に係る活動方針」に則った部活動が実施されているかをどのように把握していますか。(複数選択可)

- アンケート調査等により定期的に報告させている
- 校長等に対してヒアリングを実施している
- その他   
※その他の方法で把握している場合はその手段を記載ください。
- 把握していない

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 17% / 100% ]

2. 指導・運営に係る体制の構築

**【国のガイドライン該当箇所】**  
 校長は、生徒や教師の数、部活動指導員の配置状況を踏まえ、指導内容の充実、生徒の安全の確保、教師の長時間勤務の解消等の観点から円滑に運動部活動を実施できるよう、適正な数の運動部を設置する。

校長は、運動部顧問の決定に当たっては、校務全体の効率的・効果的な実施に鑑み、教師の他の校務分掌や、部活動指導員の配置状況を勘案した上で行うなど、適切な校務分掌となるよう留意するとともに、学校全体としての適切な指導、運営及び管理に係る体制の構築を図る。

校長は、毎月の活動計画及び活動実績の確認等により、各運動部の活動内容を把握し、生徒が安全にスポーツ活動を行い、教師の負担が過度とならないよう、適宜、指導・是正を行う。

都道府県及び学校の設置者は、運動部顧問を対象とするスポーツ指導に係る知識及び実技の質の向上並びに学校の管理職を対象とする運動部活動の適切な運営に係る実効性の確保を図るための研修等の取組を行う。

都道府県、学校の設置者及び校長は、教師の運動部活動への関与について、「学校における働き方改革に関する緊急対策（平成29年12月26日文科科学大臣決定）」及び「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取組の徹底について（平成30年2月9日付け29文科初第1437号）」3を踏まえ、法令に則り、業務改善及び勤務時間管理等を行う。

**必須** Q15.

自らが設置している学校における部活動の設置数が適正化されるように、支援や助言等の取組を行っていますか。また、取組の概要が掲載されたURLがある場合は、記載ください。なお、アンケート分析時に事務局より関連する資料提供を依頼する場合がございます。（1つ選択）

- 取組を行っている  
 (取組概要:   
 (URL: )
- 取組は行っていません その理由 ()

戻る 次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 19% / 100% ]

**必須** Q16.

部活動顧問を対象として、スポーツ指導に係る知識及び実技の質の向上や部活動の適切な運営に係る研修の学校設置者による実施状況についてご回答ください。（1つ選択）

- 実施している
- 実施していない

戻る 次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 20% / 100% ]

**必須** Q17.

部活動顧問を対象とした、スポーツ指導に係る知識及び実技の質の向上や部活動の適切な運営に係る研修の実施頻度をご回答ください。（1つ選択）

- 年に1回
- 年に2～3回
- 年に4回以上

戻る 次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 21% / 100% ]

**必須** Q18.

学校における管理職（校長や教頭等）を対象とした、スポーツ指導に係る知識及び実技の質の向上や部活動の適切な運営に係る研修の実施状況についてご回答ください。（1つ選択）

- 実施している
- 実施していない

戻る 次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 22 % / 100% ]

必須 Q19.

学校における管理職（校長や教頭等）を対象とした、スポーツ指導に係る知識及び実技の質の向上や部活動の適切な運営に係る研修の実施頻度をご回答ください。（1つ選択）

- 年に1回
- 年に2～3回
- 年に4回以上

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 23 % / 100% ]

3. 部活動指導員の任用・活用状況について

この設問における「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則の第七十八条の二で規定されている「学校におけるスポーツ、文化、科学等に関する教育活動（学校の教育課程として行われるものを除く。）に係る技術的な指導に従事する」者のことを指します。  
 ※一般にいう「外部指導者」とは異なります。

**【国のガイドライン該当箇所】**  
 学校の設置者は、各学校の生徒や教師の数、部活動指導員の配置状況や校務分担の実態等を踏まえ、部活動指導員を積極的に任用し、学校に配置する。  
 なお、部活動指導員の任用・配置に当たっては、学校教育について理解し、適切な指導を行うために、部活動の位置付け、教育的意義、生徒の発達段階に応じた科学的な指導、安全の確保や事故発生後の対応を適切に行うこと、生徒の人格を傷つける言動や、体罰は、いかなる場合も許されないこと、服務（校長の監督を受けることや生徒、保護者等の信頼を損ねるような行為の禁止等）を遵守すること等に関し、任用前及び任用後の定期において研修を行う。

必須 Q20.

部活動指導員の任用等に係る規則の整備状況についてご回答ください。（1つ選択）

- 整備している
- 年度内に整備する予定である
- 次年度以降整備する予定である
- 検討していない

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 24 % / 100% ]

必須 Q21.

部活動指導員の任用状況についてご回答ください。また、任用している場合は、把握している人数をご回答ください。（1つ選択）

- 任用している（）人
- 任用していない

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 25 % / 100% ]

必須 Q22.

任用している部活動指導員の属性について、内訳をご回答ください。（数値記入）

※半角数字でご記入ください。

※属性に該当する指導員がいらない場合は「0」とご記入ください。

ヨコへ回答→	
教員OB・OG（定年・転職）	<input type="text"/> 人
非常勤講師等の現職の学校職員	<input type="text"/> 人
地域のスポーツクラブ（総合型クラブ、競技別クラブ、スポーツ少年団など）の指導者	<input type="text"/> 人
民間のスポーツクラブ（フィットネスクラブ、プロスポーツクラブなど）の指導者	<input type="text"/> 人
民間企業に所属する競技・指導経験者	<input type="text"/> 人
学生（大学生・大学院生など）	<input type="text"/> 人
その他	<input type="text"/> 人
合計	<input type="text"/> 0 人

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 26 % / 100% ]

**必須** Q23.

任用している部活動指導員について、当てはまる担当競技種目を全てご回答ください。(複数選択可)

- 陸上競技
- 体操競技
- 新体操
- ダンス
- 卓球
- ソフトテニス
- テニス
- バドミントン
- バスケットボール
- バレーボール
- サッカー
- ハンドボール
- ホッケー
- ラグビーフットボール
- アメリカンフットボール
- 軟式野球
- 硬式野球
- ソフトボール
- 水泳(競技)
- 水泳(飛込)
- 水泳(水球)
- 水泳(シンクロナイズドスイミング)
- 柔道
- 剣道
- 弓道
- 相撲
- 空手道
- 合気道
- 少林寺拳法
- なぎなた
- 銃剣道
- レスリング
- ボクシング
- フェンシング
- ウェイトリフティング
- アーチェリー
- ゴルフ
- 自転車競技
- 登山
- スポーツクライミング
- ボート
- セーリング(ヨット)
- カヌー
- スキー
- スピードスケート
- フィギュアスケート
- アイスホッケー
- その他 (具体的に: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 28 % / 100% ]

**必須** Q24.

任用している部活動指導員のうち、配置された学校において部活動顧問となっている人数をご回答ください。(1つ選択)

- (  ) 人
- 把握していない(理由: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

【 29 % / 100% 】

**必須** Q25.

任用している部活動指導員のうち、休日（土曜日・日曜日・祝日）に勤務している人数をご回答ください。（1つ選択）  
 ※「平日及び休日に勤務」、「休日のみ勤務」に該当する人数

- ( ) 人  
 把握していない（理由：  ）

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 30 % / 100% 】

**必須** Q26.

部活動指導員の任用に関して、資格・競技経験などの条件設定はございますか。（1つ選択）

- 条件を付してる  
 条件は付していない（理由：  ）

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 31 % / 100% 】

**必須** Q27.

部活動指導員の任用に関して当てはまる条件全てについてご回答ください。（複数選択可）

- 競技経験を有すること  
 指導者資格を保有していること  
 教員免許を保有していること  
 教職の経験を有すること  
 外部指導者の経験を有すること  
 その他（具体的に：  ）

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 32 % / 100% 】

**必須** Q28.

部活動指導員の勤務に関して、1時間当たりの報酬額をご回答ください。（数値記入）  
 ※半角数字でご記入ください。  
 ※月給や日給等の場合には、時給換算したうえで回答してください。

時給  円

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 33 % / 100% 】

**必須** Q29.

部活動指導員の任用前研修の実施状況についてご回答ください。（1つ選択）

- 実施している・実施する予定である  
 実施していない・実施しない予定である

戻る

次へ



## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

【 34 % / 100% 】

**必須** Q30.

部活動指導員の任用前研修を実施していない・実施しない予定である理由をご回答ください。 (複数選択可)

- 何を研修すればよいかわからない
- 研修する時間が確保できない
- 研修費用が不足している
- 研修を実施できる人材が不足している
- その他 (具体的に: )
- 特に理由はない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 35 % / 100% 】

**必須** Q31.

部活動指導員の任用前研修の延べ実施時間についてご回答ください。 (1つ選択)

※複数回実施している場合には、その合計時間でご回答ください。

- ~5時間程度
- 6~9時間程度
- 10時間以上

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 37 % / 100% 】

**必須** Q32.

部活動指導員の任用前研修の研修内容(予定を含む)についてご回答ください。 (複数選択可)

- 部活動の意義及び位置付け
- 学校全体・各部の活動の目標や方針
- 生徒の発達段階に応じた科学的な指導
- 安全の確保や事故発生後の対応
- 服務
- 体罰、ハラスメントの禁止
- その他 (具体的に: ) ※例: 実技指導等

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 38 % / 100% 】

**必須** Q33.

部活動指導員の任用後研修の実施状況についてご回答ください。 (1つ選択)

- 実施している・実施する予定である
- 実施していない・実施しない予定である

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

【 39 % / 100% 】

**必須** Q34.

部活動指導員の任用後研修を実施していない・実施しない予定である理由をご回答ください。 (複数選択可)

- 何を研修すればよいかわからない
- 研修する時間が確保できない
- 研修費用が不足している
- 研修を実施できる人材が不足している
- その他 (具体的に: )
- 特に理由はない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 40 % / 100% 】

**必須** Q35.

部活動指導員の任用後研修の延べ実施時間についてご回答ください。 (1つ選択)

※複数回実施している場合には、その合計時間でご回答ください。

- ~5時間程度
- 6~9時間程度
- 10時間以上

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 41 % / 100% 】

**必須** Q36.

部活動指導員の任用後研修の研修内容(予定を含む)についてご回答ください。 (複数選択可)

- 部活動の意義及び位置付け
- 学校全体・各部の活動の目標や方針
- 生徒の発達段階に応じた科学的な指導
- 安全の確保や事故発生後の対応
- 服務
- 体罰、ハラスメントの禁止
- その他 (具体的に: ) ※例: 実技指導等

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 42 % / 100% 】

**必須** Q37.

部活動指導員の人材確保に向けて工夫しているまたは、注力している取組についてご回答ください。

また、取組の概要が掲載されたURLがある場合は、記載ください。

なお、アンケート分析時に事務局より関連する資料提供を依頼する場合がございます。 (1つ選択)

- 取組を実施している  
(取組の概要: )  
(URL: )
- 取組は行っていません

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 43 % / 100% ]

**必須** Q38.

部活動指導員の活用に関して感じている課題があれば、ご回答ください。(1つ選択)

- 課題を感じている（感じている課題について具体的に：)
- 課題は感じていない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 44 % / 100% ]

## 4. 外部指導者（部活動指導員除く）の活用状況について

「外部指導者」とは、部活動指導員を除き、顧問の教諭等と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う者を指します。  
※部活動指導員は含まれません。

**必須** Q39.

設置している学校における外部指導者の任用又は嘱託等の有無の把握についてご回答ください。(1つ選択)

- 外部指導者の任用又は嘱託等の有無を把握している
- 外部指導者の任用又は嘱託等の有無を一部把握している（把握していない理由：)
- 外部指導者の任用又は嘱託等の有無を把握していない（把握していない理由：)

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 46 % / 100% ]

**必須** Q40.

設置している学校における外部指導者の活用状況の把握についてご回答ください。(1つ選択)

※活用状況とは、設置している学校における外部指導者の「人数」、「任用又は嘱託主体」、「属性」、「担当競技種目」などを指します。

- 外部指導者の活用状況を把握している
- 外部指導者の活用状況を一部把握している（把握していない理由：)
- （例：設置者が任用又は嘱託した外部指導者の活用状況は把握しているが、学校が任用又は嘱託した外部指導者の活用状況は、報告を受けていないため。
- 外部指導者の活用状況を把握していない（把握していない理由：)

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 47 % / 100% ]

**必須** Q41.

外部指導者の任用又は嘱託等を行っている主体の種類で当てはまるものを全てご回答ください。(複数選択可)

- 学校
- 設置者
- その他
- 把握していない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 48 % / 100% ]

以降の設問については、あなたが把握している外部指導者の活用状況についてご回答ください。

**必須** Q42.

設置している学校において活用している外部指導者の人数の合計をご回答ください。（数値記入）  
 ※半角数字でご記入ください。  
 ※現在、外部指導者を活用していない場合は、[0]をご回答ください。

人数  人

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 49 % / 100% ]

**必須** Q43.

任用・嘱託している外部指導者の属性について内訳をご回答ください。（数値記入）  
 ※半角数字でご記入ください。  
 ※属性に該当する指導者がいらっしゃらない場合は「0」とご記入ください。

ヨコへ回答→	
教員OB・OG（定年・転職）	<input type="text"/> 人
非常勤講師等の現職の学校職員	<input type="text"/> 人
地域のスポーツクラブ（総合型クラブ、競技別クラブ、スポーツ少年団など）の指導者	<input type="text"/> 人
民間のスポーツクラブ（フィットネスクラブ、プロスポーツクラブなど）の指導者	<input type="text"/> 人
民間企業に所属する競技・指導経験者	<input type="text"/> 人
学生（大学生・大学院生など）	<input type="text"/> 人
その他	<input type="text"/> 人
合計	<input type="text" value="0"/> 人

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 50% / 100% ]

**必須** Q44.

任用・嘱託している外部指導者について、当てはまる担当競技種目を全てご回答ください。(複数選択可)

- 陸上競技
- 体操競技
- 新体操
- ダンス
- 卓球
- ソフトテニス
- テニス
- バドミントン
- バスケットボール
- バレーボール
- サッカー
- ハンドボール
- ホッケー
- ラグビーフットボール
- アメリカンフットボール
- 軟式野球
- 硬式野球
- ソフトボール
- 水泳(競技)
- 水泳(飛込)
- 水泳(水球)
- 水泳(シンクロナイズドスイミング)
- 柔道
- 剣道
- 弓道
- 相撲
- 空手道
- 合気道
- 少林寺拳法
- なぎなた
- 銃剣道
- レスリング
- ボクシング
- フェンシング
- ウエイトリフティング
- アーチェリー
- ゴルフ
- 自転車競技
- 登山
- スポーツクライミング
- ボート
- セーリング(ヨット)
- カヌー
- スキー
- スピードスケート
- フィギュアスケート
- アイスホッケー
- その他 (具体的に: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 51% / 100% ]

**必須** Q45.

外部指導者の任用・嘱託に関して資格・競技経験などの条件設定はございますか。(1つ選択)

- 条件を付してる
- 条件は付していない(理由: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

【 52 % / 100% 】

**必須** Q46.

外部指導者の任用・嘱託に関して当てはまる条件全てについてご回答ください。 (複数選択可)

- 競技経験を有すること
- 指導者資格を保有していること
- 教員免許を保有していること
- 教職の経験を有すること
- 外部指導者の経験を有すること
- その他 (具体的に: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 53 % / 100% 】

**必須** Q47.

外部指導者の部活動指導に係る報酬の有無についてご回答ください。 (1つ選択)

- 報酬あり
- 報酬なし
- 報酬のある外部指導者とない外部指導者が存在する
- 把握していない (理由: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 55 % / 100% 】

**必須** Q48.

外部指導者の部活動指導に係る交通費等の実費弁償の有無についてご回答ください。 (1つ選択)

- 実費弁償あり
- 実費弁償なし
- 実費弁償のある外部指導者とない外部指導者が存在する
- わからない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 56 % / 100% 】

**必須** Q49.

外部指導者の部活動指導に係る報酬、実費弁償の負担者について当てはまるもの全てを選択してください。 (複数選択可)

- 学校設置者
- 学校
- 保護者
- その他

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 57 % / 100% ]

**必須** Q50.

外部指導者の部活動指導に係る1時間当たりの報酬額について任用又は嘱託等を行っている主体別に人数をご回答ください。(数値記入)  
 ※半角数字でご記入ください。  
 ※該当がない箇所には、「0」とご記入ください。  
 ※月給や日給等の場合には、時給換算したうえで回答してください。

	学校設置者	学校	その他
タテに回答↓			
0円(ボランティア)	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
500円未満	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
500円～1000円未満	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
1000円～1500円未満	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
1500円～2000円未満	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
2000円～2500円未満	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
2500円～3000円未満	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
3000円～3500円未満	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
3500円～4000円未満	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
4000円～4500円未満	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
4500円～5000円未満	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
5000円以上	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
報酬額は不明	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
この主体では、任用・嘱託をしていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 58 % / 100% ]

**必須** Q51.

外部指導者の任用・嘱託前の研修実施状況についてご回答ください。(1つ選択)

- 実施している・実施する予定である
- 実施していない・実施しない予定である
- 把握していない(理由: )

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 59 % / 100% ]

**必須** Q52.

外部指導者の任用・嘱託前の研修を実施していない・実施しない予定である理由をご回答ください。(複数選択可)

- 何を研修すればよいかわからない
- 研修する時間が確保できない
- 研修費用が不足している
- 研修を実施できる人材が不足している
- その他(具体的に: )
- 特に理由はない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 60% / 100% ]

**必須** Q53.

外部指導者の任用・嘱託前の研修の実施時間についてご回答ください。(1つ選択)  
※複数回実施している場合には、その合計時間でご回答ください。

- ~5時間程度  
 6~9時間程度  
 10時間以上

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 61% / 100% ]

**必須** Q54.

外部指導者の任用・嘱託前研修の研修内容(予定を含む)についてご回答ください。(複数選択可)

- 部活動の意義及び位置付け  
 学校全体・各部の活動の目標や方針  
 生徒の発達段階に応じた科学的な指導  
 安全の確保や事故発生後の対応  
 服務  
 体罰、ハラスメントの禁止  
 その他 (具体的に: ) ※例: 実技指導等

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 62% / 100% ]

**必須** Q55.

外部指導者の任用・嘱託後の研修実施状況についてご回答ください。(1つ選択)

- 実施している・実施する予定である  
 実施していない・実施しない予定である  
 把握していない(理由: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 64% / 100% ]

**必須** Q56.

外部指導者の任用・嘱託後の研修を実施していない・実施しない予定である理由をご回答ください。(複数選択可)

- 何を研修すればよいかわからない  
 研修する時間が確保できない  
 研修費用が不足している  
 研修を実施できる人材が不足している  
 その他 (具体的に: )  
 特に理由はない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 65% / 100% ]

**必須** Q57.

外部指導者の任用・嘱託後の研修の実施時間についてご回答ください。(1つ選択)  
※複数回実施している場合には、その合計時間でご回答ください。

- ~5時間程度  
 6~9時間程度  
 10時間以上

戻る

次へ



部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 66 % / 100% ]

必須 Q58.

外部指導者の任用・嘱託後研修の研修内容（予定を含む）についてご回答ください。（複数選択可）

- 部活動の意義及び位置付け
- 学校全体・各部の活動の目標や方針
- 生徒の発達段階に応じた科学的な指導
- 安全の確保や事故発生後の対応
- 服務
- 体罰、ハラスメントの禁止
- その他（具体的に：） ※例：実技指導等

戻る 次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 67 % / 100% ]

必須 Q59.

外部指導者の人材確保に向けて工夫しているまたは、注力している取組についてご回答ください。  
また、取組の概要が掲載されたURLがある場合は、記載ください。  
なお、アンケート分析時に事務局より関連する資料提供を依頼する場合がございます。（1つ選択）

- 取組を実施している  
(取組の概要：)  
(URL：)
- 取組は行っていません

戻る 次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 68 % / 100% ]

必須 Q60.

外部指導者の活用に関して感じている課題についてご回答ください。（1つ選択）

- 課題を感じている（課題の内容：)
- 課題は感じていない

戻る 次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 69 % / 100% ]

5. 適切な指導の実施

【国のガイドライン該当箇所】

校長及び運動部顧問は、運動部活動の実施に当たっては、文部科学省が平成25年5月に作成した「運動部活動での指導のガイドライン」に則り、生徒の心身の健康管理（スポーツ障害・外傷の予防やバランスのとれた学校生活への配慮等を含む）、事故防止（活動場所における施設・設備の点検や活動における安全対策等）及び体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。都道府県及び学校の設置者は、学校におけるこれらの取組が徹底されるよう、学校保健安全法等も踏まえ、適宜、支援及び指導・是正を行う。

運動部顧問は、スポーツ医・科学の見地からは、トレーニング効果を得るために休養を適切に取る必要があること、また、過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高め、必ずしも体力・運動能力の向上につながらないこと等を正しく理解するとともに、生徒の体力の向上や、生涯を通じてスポーツに親しむ基礎を培うことができるよう、生徒とコミュニケーションを十分に図り、生徒がバーンアウトすることなく、技能や記録の向上等それぞれの目標を達成できるよう、競技種目の特性等を踏まえた科学的トレーニングの積極的な導入等により、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を行う。  
また、専門的知見を有する保健体育担当の教師や養護教諭等と連携・協力し、発達の遅い人や女子の成長期における体と心の状態等に関する正しい知識を得た上で指導を行う。

必須 Q61.

部活動における生徒の心身の健康管理、事故防止、体罰・ハラスメントの根絶の徹底に資する支援等の具体的な取組についてご回答ください。  
また、取組の概要が掲載されたURLがある場合は、記載ください。  
なお、アンケート分析時に事務局より関連する資料提供を依頼する場合がございます。（1つ選択）

- 取組を実施している  
(取組概要：)  
(URL：)
- 取組は行っていません

戻る 次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

【 70 % / 100% 】

**必須** Q62.

競技種目の特性等を踏まえた科学的トレーニング法の情報提供など、生徒が休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を顧問等が適切に行えるような支援等の具体的な取組についてご回答ください。また、取組の概要が掲載されたURLがある場合は、記載ください。なお、アンケート分析時に事務局より関連する資料提供を依頼する場合がございます。（1つ選択）

- 取組を実施している  
（取組の概要：  
URL：
- 取組は行っていません

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 71 % / 100% 】

## 6. 適切な休養日等の設定

## 【国のガイドライン該当箇所】

学期中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。（平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日（以下「週末」という。）は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。）

長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるように、運動部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。

1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日（学期中の週末を含む）は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。

**必須** Q63.

自らが策定した/策定予定の方針の休養日の設定についてご回答ください。（1つ選択）

- 国の基準以上の基準（例：週3日など）を設定
- 国の基準に則った基準を設定
- 国の基準以下の基準（例：週1日など）を設定

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 73 % / 100% 】

**必須** Q64.

自らが策定した/策定予定の方針の休養日の設定を国の基準以上の基準に設定した理由を教えてください。

ヨコへ回答→	
設定した休養日	<input type="text"/>
基準以上に設定した理由 例：有識者会議において、実施した調査の○○というエビデンスをもとに議論をまとめ、異なる基準を設定した。	<input type="text"/>

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

【 74 % / 100% 】

**必須** Q65.

自らが策定した/策定予定の方針の休養日の設定を国の基準以下の基準に設定した理由を教えてください。

<a href="#">ヨコへ回答→</a>	
設定した休養日	<div style="border: 1px solid gray; height: 80px;"></div>
基準以下に設定した理由 <small>例：有識者会議において、実施した調査の○○というエビデンスをもとに議論をまとめ、異なる基準を設定した。</small>	<div style="border: 1px solid gray; height: 80px;"></div>

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 75 % / 100% 】

**必須** Q66.

自らが策定した/策定予定の方針の1日の活動時間の設定についてご回答ください。（1つ選択）

- 国の基準以上の基準（例：平日1時間程度、休業日2時間程度など）を設定
- 国の基準に則った基準を設定
- 国の基準以下の基準（例：平日3時間程度、休業日4時間程度など）を設定

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 76 % / 100% 】

**必須** Q67.

自らが策定した/策定予定の方針の1日の活動時間の設定を国の基準以上の基準に設定した理由を平日別にご教えてください。  
 ※平日どちらのみ基準と異なる場合は、片方のみ記入ください。

【設定した1日の活動時間（平日）】

 時間

【基準以上に設定した理由（平日）】

例：有識者会議において、実施した調査の○○というエビデンスをもとに議論をまとめ、異なる基準を設定した。

【設定した1日の活動時間（休日）】

 時間

【基準以上に設定した理由（休日）】

例：有識者会議において、実施した調査の○○というエビデンスをもとに議論をまとめ、異なる基準を設定した。

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

【 77 % / 100% 】

**必須** Q68.

自らが策定した/策定予定の方針の1日の活動時間の設定を国の基準以下の基準に設定した理由を平日日別に教えてください。  
 ※平日どちらかのみ基準と異なる場合は、片方のみ記入ください。

【設定した1日の活動時間（平日）】

 時間

【基準以下に設定した理由（平日）】

例：有識者会議において、実施した調査の〇〇というエビデンスをもとに議論をまとめ、異なる基準を設定した。

【設定した1日の活動時間（休日）】

 時間

【基準以下に設定した理由（休日）】

例：有識者会議において、実施した調査の〇〇というエビデンスをもとに議論をまとめ、異なる基準を設定した。

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 78 % / 100% 】

**必須** Q69.

自らが策定した/策定予定の方針の長期休業中のオフシーズンの設定についてご回答ください。（1つ選択）

- 具体的な期間や日数を設定（具体的に：）※例：連続した5日間、休業期間中の半分以上
- 具体的な期間や日数を明示していないが、「ある程度長期のオフシーズン」を設定
- その他（理由：）
- 設定していない（理由：）

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 79 % / 100% 】

**必須** Q70.

自らが策定した/策定予定の方針や校長により策定された活動方針において、設定している基準に対し、例えば大会前等は例外的に、当該基準を超えた活動を認めること等が定められていますか。（1つ選択）

- 定められていない
- 定められている

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 80 % / 100% 】

**必須** Q71.

校長により策定された活動方針において、設定している基準に則った活動となるように学校に対して指導、助言等を行うなど、学校による運用を徹底するための取組を実施していますか。（1つ選択）

- 実施している（具体的な内容：）
- 実施していない

戻る

次へ

7. 生徒のニーズに応じた運動部の設置等

【国のガイドライン該当箇所】

校長は、生徒の1週間の総運動時間が男女ともに二極化の状況にあり、特に、中学生女子の約2割が60分未満であること、また、生徒の運動・スポーツに関するニーズは、競技力の向上以外にも、友達と楽しめる、適度な頻度で行える等多様である中で、現在の運動部活動が、女子や障害のある生徒等も含めて生徒の潜在的なスポーツニーズに必ずしも応えられていないことを踏まえ、生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができる運動部を設置する。

具体的な例としては、より多くの生徒の運動機会の創出が図られるよう、季節ごとに異なるスポーツを行う活動、競技志向でなくレクリエーション志向で行う活動、体力づくりを目的とした活動等、生徒が楽しく体を動かす習慣の形成に向けた動機付けとなるものが考えられる。

地方公共団体は、少子化に伴い、単一の学校では特定の競技の運動部を設けることができない場合には、生徒のスポーツ活動の機会が損なわれないよう、複数校の生徒が拠点校の運動部活動に参加する等、合同部活動等の取組を推進する。

必須 Q72.

自らが設置している学校において、生徒のニーズに応じた部活動を設置している事例についてご回答ください。また、事例の概要が掲載されたURLがある場合は、記載ください。なお、アンケート分析時に事務局より関連する資料提供を依頼する場合がございます。（複数選択可）

季節ごとに異なるスポーツを行うなど複数種目を行う運動部活動

(概要: )

(URL: )

競技種目でなく、コンディショニングや体力づくり等を目的とした運動部活動

(概要: )

(URL: )

競技志向でなくレクリエーション志向で行う運動部活動

(概要: )

(URL: )

運動・スポーツに限らず文化活動も並行して実施している部活動

(概要: )

(URL: )

設置していない

把握していない

戻る

次へ

必須 Q73.

自らが設置している学校における、合同部活動や合同チームの設置等状況についてご回答ください。（複数選択可）

★合同部活動：複数校の生徒が合同で練習や大会参加などの活動を実施することを前提に、1つの部として設置されている部活動。（拠点校方式による合同部活動も含む）

★合同チーム：各学校で設置されている部活動において、部員数が少なく、単独校ではチームを組めなかったり、活動できない場合などに、大会等への参加や活動機会の確保・充実等を主な目的に、複数校の生徒で編成された集合体（チーム）。

合同部活動を設置している

合同チームを編成している

いずれも設置していない

把握していない

戻る

次へ

必須 Q74.

複数校による合同部活動を設置している学校数、部活動数についてご回答ください。（数値記入）

※半角数字でご記入ください。

[ヨコへ回答→](#)

合同部活動を設置している学校数

合同部活動数

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 85 % / 100% ]

必須 Q75.

複数校生徒による合同チームを編成して活動している学校数、チーム数についてご回答ください。(数値記入)  
※半角数字でご記入ください。

ここに回答→

合同チームを編成して活動している学校数	<input type="text"/>
合同チーム数	<input type="text"/>

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 86 % / 100% ]

必須 Q76.

自らが設置している学校における複数校による合同部活動や複数校生徒による合同チームの事例、その推進のために、工夫しているまたは、注力している取組についてご回答ください。  
また、取組の概要が掲載されたURLがある場合は、記載ください。  
なお、アンケート分析時に事務局より関連する資料提供を依頼する場合がございます。(1つ選択)

事例・取組概要  
(概要: )  
(URL: )

取組は行っていません

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 87 % / 100% ]

8. 大会の見直し

【国のガイドライン該当箇所】

公益財団法人日本中学校体育連盟は、主催する学校体育大会について、単一の学校からの複数チームの参加、複数校合同チームの全国大会等への参加、学校と連携した地域スポーツクラブの参加などの参加資格の在り方、参加生徒のスポーツ障害・外傷の予防の観点から、大会の規模もしくは日程等の在り方、スポーツボランティア等の外部人材の活用などの運営の在り方に関する見直しを速やかに行う。  
また、都道府県中学校体育連盟が主催する大会においても、同様の見直しが行われるよう、必要な協力や支援を行う。

都道府県中学校体育連盟及び学校の設置者は、学校の運動部が参加する大会・試合の全体像を把握し、週末等に開催される様々な大会・試合に参加することが、生徒や運動部顧問の過度な負担とならないよう、大会等の統廃合等を主催者に要請するとともに、各学校の運動部が参加する大会数の上限の目安等を定める。

校長は、都道府県中学校体育連盟及び学校の設置者が定める上記の目安等を踏まえ、生徒の教育上の意義や、生徒や運動部顧問の負担が過度とならないことを考慮して、参加する大会等を精査する。

必須 Q77.

所管する学校の部活動が参加できる地方大会の年間開催状況を把握していますか。(1つ選択)  
(競技団体主催など学校体育団体主催大会以外も含む)

学校体育団体主催大会のみ把握している

学校体育団体主催大会以外も含めて把握している

把握していない(理由と対応方針: )

その他(理由と対応方針: )

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 88 % / 100% ]

必須 Q78.

所管する学校の部活動が参加できる地方大会で、部活動指導員による単独引率が認められていないものはありますか。(1つ選択)

認められていない大会がある(大会名等: )

認められていない大会はない

把握していない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

【 89 % / 100% 】

**必須** Q79.

部活動指導員による単独引率が認められていない地方大会の主催者に対して、部活動指導員の単独引率が可能となるよう要請等をしていますか。 (1つ選択)

- 要請している
- 要請していない (理由と対応方針: )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 91 % / 100% 】

**必須** Q80.

所管する学校に対して、部活動として参加する大会等に関し、参加回数上限の目安等を示していますか。 (1つ選択)

- 目安を定めている (具体的な内容とその理由: )
- 目安を定める予定 (具体的な内容とその理由: )
- 目安を定めていない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 92 % / 100% 】

**必須** Q81.

所管する学校が参加できる大会の在り方に関して、課題と感じている点についてご回答ください。 (複数選択可)

- 大会数や日程の在り方について
- 大会運営の在り方 (参加費、運営スタッフ等) について
- 大会形式・規模の在り方 (全国/地域、トーナメント/リーグ、レベル分け等) について
- 大会参加の在り方 (参加資格、引率、参加数等) について
- 特に課題を感じていない

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

【 93 % / 100% 】

**必須** Q82.

感じている課題に対する取組内容についてご回答ください。 (複数選択可)

- 大会数や日程の在り方について (取組内容: )
- 大会運営の在り方 (参加費、運営スタッフ等) について (取組内容: )
- 大会形式・規模の在り方 (全国/地域、トーナメント/リーグ、レベル分け等) について (取組内容: )
- 大会参加の在り方 (参加資格、引率、参加数等) について (取組内容: )
- 取組は行っていません

戻る

次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 94 % / 100% ]

9. 地域との連携、ジュニア期のスポーツ環境整備

**【国のガイドライン該当箇所】**  
 都道府県、学校の設置者及び校長は、生徒のスポーツ環境の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、地域のスポーツ団体との連携、保護者の理解と協力、民間事業者の活用等による、学校と地域が共に子供を育てるという視点に立った、学校と地域が協働・融合した形で地域におけるスポーツ環境整備を進める。

公益財団法人日本体育協会、地域の体育協会、競技団体及びその他のスポーツ団体は、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の生徒が所属する地域のスポーツ団体に関する事業等について、都道府県もしくは学校の設置者等と連携し、学校と地域が協働・融合した形で地域のスポーツ環境の充実を推進する。  
 また、学校の設置者等が実施する部活動指導員の任用・配置や、運動部顧問等に対する研修等、スポーツ指導者の質の向上に関する取組に協力する。

地方公共団体は、学校管理下ではない社会教育に位置付けられる活動については、各種保険への加入や、学校の負担が増加しないこと等に留意しつつ、生徒がスポーツに親しめる場所が確保できるよう、学校体育施設開放事業を推進する。

都道府県、学校の設置者及び校長は、学校と地域・保護者が共に子供の健全な成長のための教育、スポーツ環境の充実を支援するパートナーという考え方の下で、こうした取組を推進することについて、保護者の理解と協力を促す。

必須 Q83.

学校と地域が連携・融合した形でスポーツ環境整備の取組についてご回答ください。(複数選択可)

- 学校と地域のスポーツクラブ等が連携し、教師以外の指導者が学校の部活動の指導にあたっている
- 学校の運動部の運営のすべてまたは一部を地域のスポーツ団体等の外部団体に委託している
- 学校の運動部のすべてまたは一部に関し、地域移行を実施し、学校から切り離したうえで、地域のスポーツクラブ等として活動している
- 取組は行っていない

戻る 次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 95 % / 100% ]

必須 Q84.

学校と地域が連携・融合した形でスポーツ環境整備の取組について、主な事例についてご回答ください。(令和3年度地域運動部活動推進事業の取組は除きます) また、事例の概要が掲載されたURLがある場合は、記載ください。なお、アンケート分析時に事務局より関連する資料提供を依頼する場合がございます。

ヨコへ回答→	事例	URL
学校と地域のスポーツクラブ等が連携し、教師以外の指導者が学校の部活動の指導にあたっている		<input type="text"/>
学校の運動部の運営のすべてまたは一部を地域のスポーツ団体等の外部団体に委託している		<input type="text"/>
学校の運動部のすべてまたは一部に関し、地域移行を実施し、学校から切り離したうえで、地域のスポーツクラブ等として活動している		<input type="text"/>

戻る 次へ

部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 96 % / 100% ]

必須 Q85.

学校と地域が連携・融合した形でスポーツ環境整備の取組に関して、スポーツ所管課との連携状況についてご回答ください。(1つ選択)

- 連携協力しながら取組を進めている(具体的な連携内容: )
- 特に連携協力が行っていない(理由: )

戻る 次へ



## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

設定項目表示

[ 97 % / 100% ]

**必須** Q86.

令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けた検討・取組状況についてご回答ください。(1つ選択)

- 地域内の学校で実際に地域移行に着手するなど、具体的な取組を進めている
- 会議体を設置するなど、関係団体とも連携した上で検討している
- 今後の進め方について検討している
- 段階的な地域移行に向けた取組を行う必要性がない その理由 (  )
- 取組は行っていない その理由 (  )

戻る

次へ

## 部活動ガイドラインに関するフォローアップ調査

[ 98 % / 100% ]

**必須** Q87.教員や行政職員が地域のスポーツ活動の指導に従事するに当たり、兼職兼業の許可をした事例についてご回答ください。  
また、事例の概要が掲載されたURLがある場合は、記載ください。  
なお、アンケート分析時に事務局より関連する資料提供を依頼する場合がございます。(1つ選択)

- 事例がある  
(概要: )  
(URL: )
- 事例はない

戻る

次へ